

## リウマチ科

科長 石黒 直樹 (教授)

8W

## リウマチ治療の情報発信をするなど多角的に対応

関節をはじめとする運動器に障害を起こすリウマチ性疾患を対象に治療を行っています。

## 診療体制

リウマチ性疾患に対する手術療法薬物治療を行っています。また、血友病関節症に取り組む数少ない施設のうちの一つで血液内科との連携で安全に手術を行っています。呼吸器、腎臓、消化器内科などとの連携も十分に取れており合併症、副作用についても十分に対処できる体制があります。



## 対象疾患

関節リウマチ（登録患者数約 1,000 例）、血友病関節症（年間手術例 3-5 例）です。

## 得意分野

手術については低侵襲かつ正確な手術を目指しており、積極的に手術療法を行っています。薬物治療についてはメソトレキセートを基本として、生物学的製剤の使用も積極的に行っています。また、炎症マーカー、骨代謝マーカーなどとの比較も行い、病態の理解、治療方針のために役立てることを検討しています。

## 診療実績

リウマチに対して人工関節60例/年、生物学的製剤使用症例はのべ300例です。大きく進歩しているリウマチ治療の情報発信のため、リウマチネットワークを立ち上げ勉強会、市民公開講座を開催しています。

## 専門外来

リウマチ外来、血友病外来です。

## 先進医療・研究

積極的に薬剤開発治験に取り組んでおり、現在も5種類の抗リウマチ薬開発治験が進行しています。当科では軟骨基質分解産物に着目し、関節破壊マーカーの開発を進めています。



## 手の外科

科長 平田 仁 (教授)

8W

## 手に特化した専門性の高い最新治療や研究・開発

肩甲帯から手に至る上肢の筋骨格系障害や外傷、神経麻痺、循環障害、先天奇形などの治療を専ら行っています。

## 診療体制

上肢の疾患や外傷に習熟した9名の医師が、週5日間の専門外来と年間約400例の手術を実施しています。4名の作業療法士が医師とのカンファレンスを通じて個々の患者に対応した後療法を実践しています。

## 対象疾患

骨折・脱臼、腱・靭帯損傷、上肢作業関連性疾患・スポーツ傷害、絞扼性神経障害、外傷性神経損傷、痙性麻痺手、上肢関節疾患・拘縮、四肢切断、骨関節感染症、循環障害および骨無腐性壊死、腫瘍、腫瘍性病変。

## 得意分野

上肢の難治性骨関節障害の治療、末梢神経障害による麻痺、手の再建や疼痛治療、拘縮手に対する拘縮解離および筋骨格再建、上肢循環障害の治療、小関節障害に対する低侵襲手術、先天奇形、手の機能再建。

## 診療実績

内視鏡、手術用顕微鏡を駆使した低侵襲手術に力を入れており、手関節鏡視下手術の実績は1,000例を超え日本屈指の件数を誇っています。末梢神経麻痺の治療でも最新治療技術の導入を進めています。

## 専門外来

月曜日から金曜日まで限なく専門外来を開いています。専属の医師は9名であり、愛知県内外からの紹介患者を受け付けています。

## 先進医療・研究

複合組織移植による上肢機能再建を実施しており、研究では末梢神経障害治療材料、人工骨、骨折治療材料、上肢リハビリテーション支援機器の開発を進めています。特許は過去3年間に認定3件、出願中4件を数えます。

